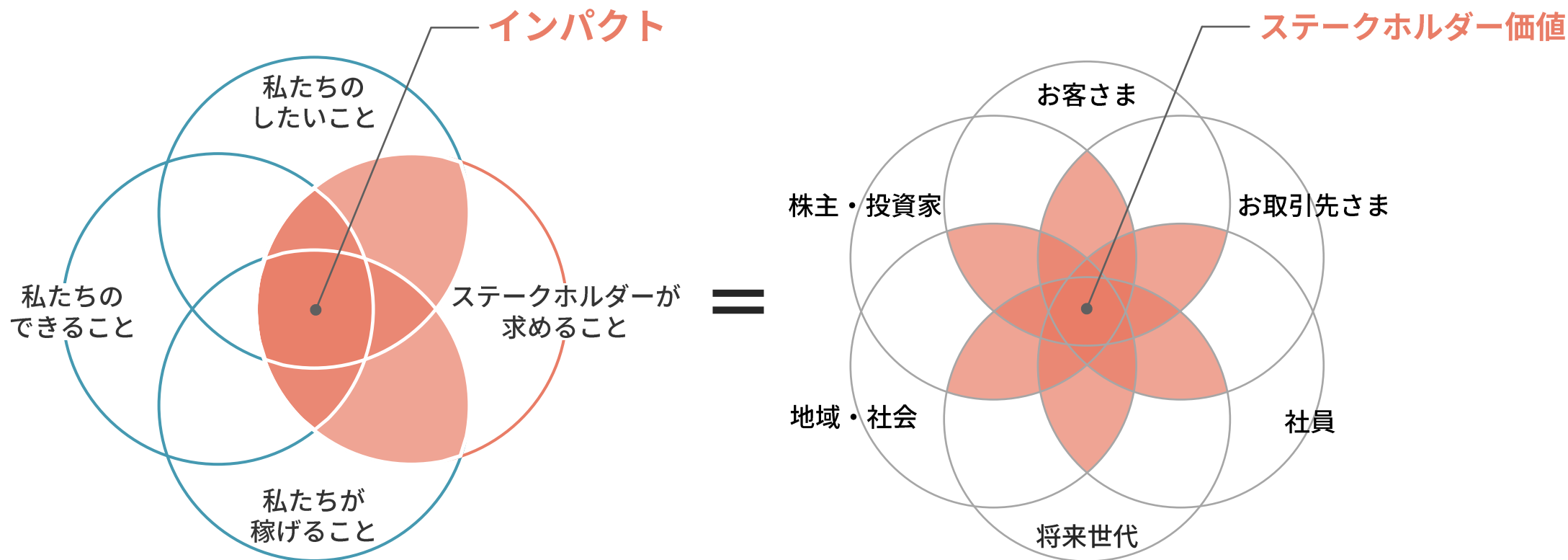


第1章 丸井グループがめざすインパクト



1-1 丸井グループのインパクトの定義



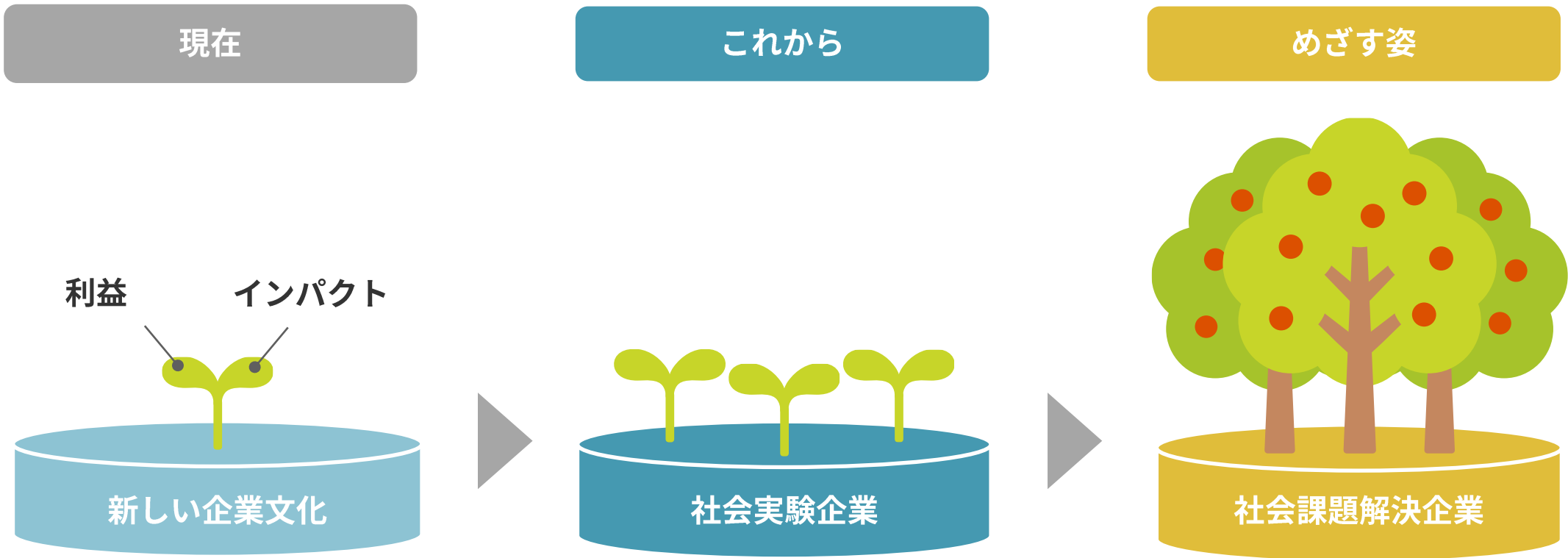
インパクトの生み出す価値 = ステークホルダー価値 = 企業価値

* Héctor García, Francesc Miralles 「IKIGAI」を参考に当社作成
<https://www.penguin.co.uk/books/1112754/ikigai/9781786330895.html>

- ・インパクトと利益の二項対立を乗り越え、社会課題解決企業へと進化

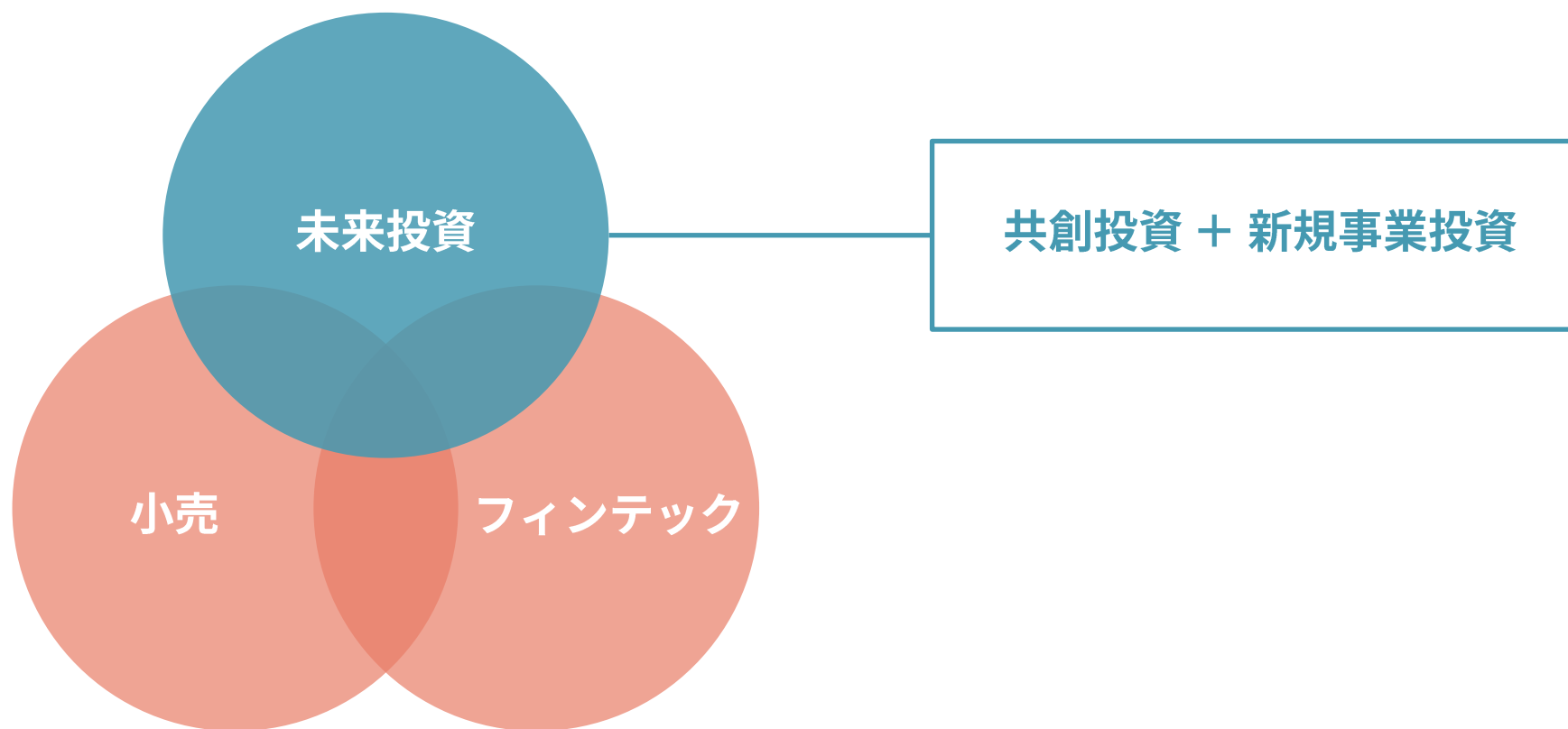
<ビジョン 2050>

インパクトと利益の二項対立を乗り越える

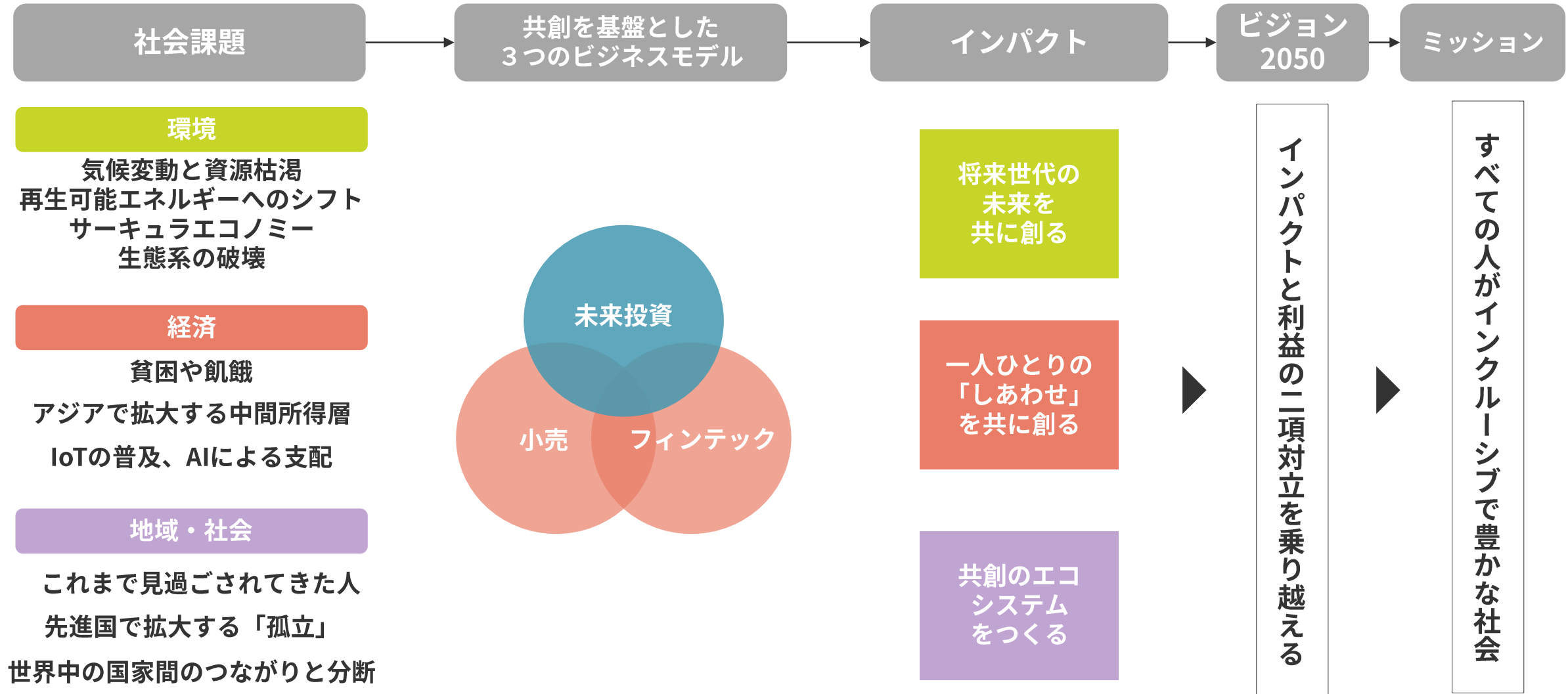


1-3 インパクトと利益の両立を実現するビジネスモデル

- ・三位一体のビジネスモデル推進により、「インパクト」と「利益」の両立をめざす



1-4 ビジョン2050の達成に向けたインパクトの設定



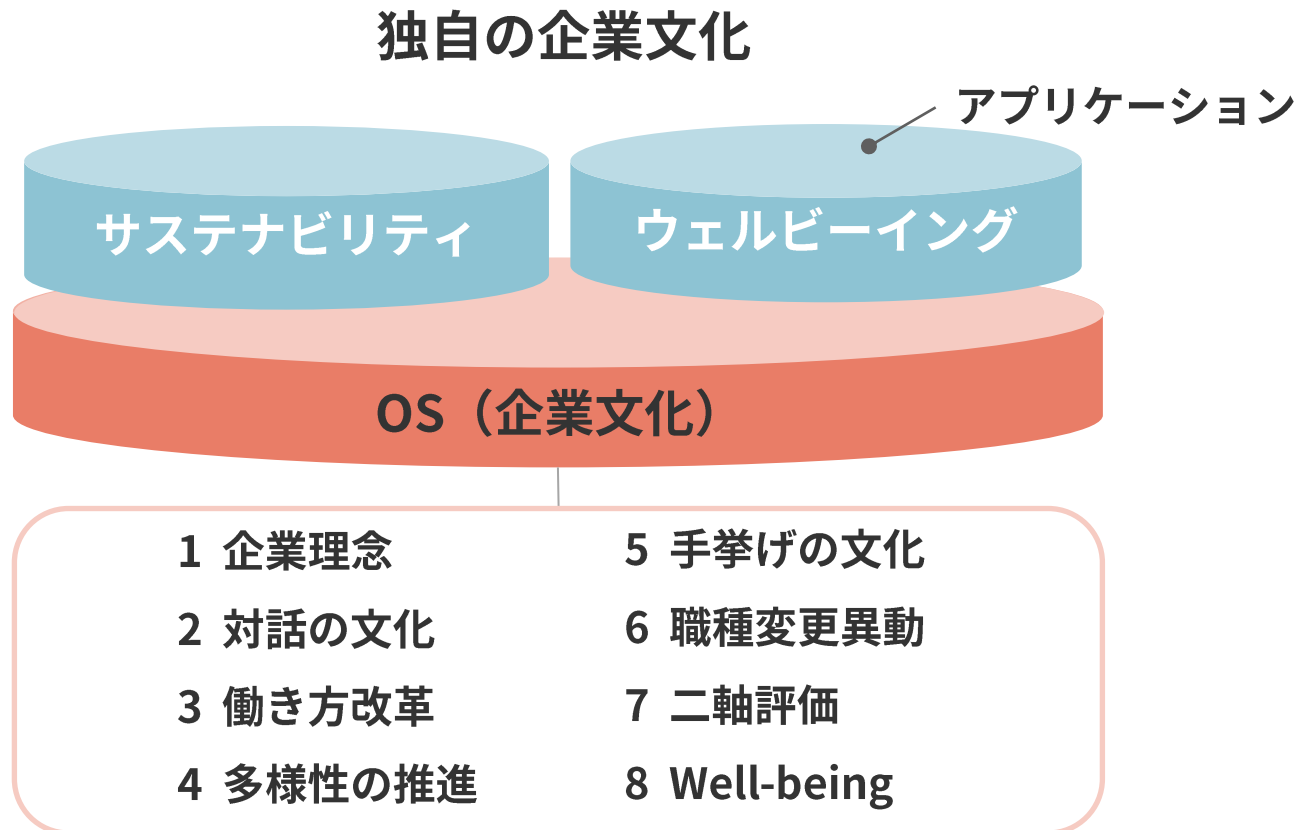
テーマ	重点項目
将来世代の未来を 共に創る	脱炭素社会の実現
	サステナブルな消費・暮らしの革新
	将来世代の「事業創出」を応援
一人ひとりの「しあわせ」 を共に創る	一人ひとりの「好き」を応援
	一人ひとりの「個性」を応援
	一人ひとりの「健康」を応援
	一人ひとりの「お金の活かし方」を応援
共創のエコシステムを つくる	共創の場づくり
	働き方と組織のイノベーション
	ビジネスを通じた社会実験

1-5 2030年インパクトKPIと財務KPI

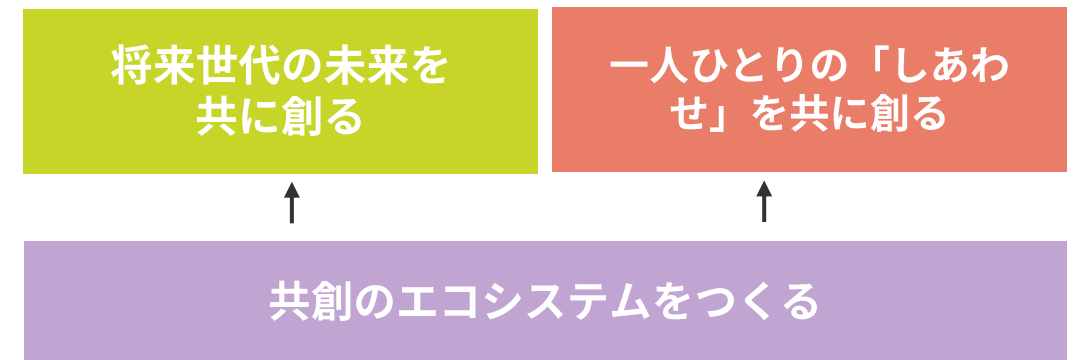
テーマ・重点項目		2030年 KPI		財務価値
将来世代の 未来を 共に創る	脱炭素社会の実現	CO2の削減	100万t以上	取扱高 6,800億以上 LTV900億以上
	サステナブルな消費・暮らしの革新	「サステナブルな消費・暮らしの革新」に参画する利用者	100万人以上	
		「サステナブルな消費・暮らしの革新」の選択肢を提供する企業	1,000社以上	
	将来世代の「事業創出」を応援	将来世代の事業家への出資	100件以上	
一人ひとりの 「しあわせ」 を共に創る	一人ひとりの「好き」を応援 一人ひとりの「個性」を応援 一人ひとりの「健康」を応援	「好き」「個性」「健康」を応援するカード利用者	300万人以上	取扱高 1.3兆以上 LTV2,000億以上
		「好き」「個性」「健康」を応援する企業	200社以上	
	一人ひとりの 「お金の活かし方」を応援	国内外 若者等の金融サービス利用者	1,000万人以上	取扱高 3.5兆以上 LTV2,500億以上
		共創パートナーを通じた応援投資	世界20カ国以上	
共創の エコシステム をつくる	共創の場づくり	共創の場の数	500回以上	IRR 10%以上
		共創の場を創出する企業	350社以上	
		共創のエコシステムへの参加者	1万人以上	
	働き方と組織のイノベーション	エンゲージメントが高い社員の割合	75%	
		フローに入りやすい状態にある社員比率	60%	
		自分の「好き」を仕事に活かしている社員比率	75%	
	ビジネスを通じた社会実験	社会実験数	30件	
		イノベーション創出数	20件	

1-6 インパクトを創出する構造

- 独自の企業文化を活用し、インパクトを創出



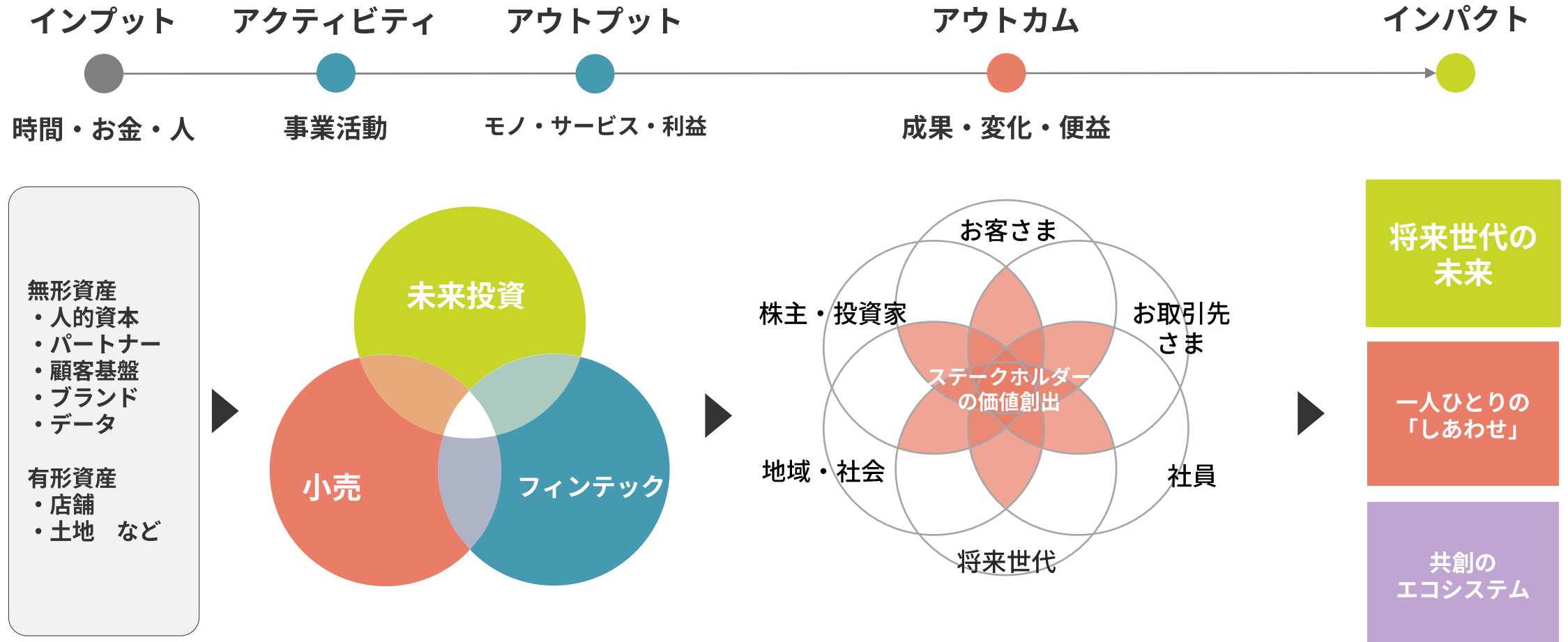
インパクトを創出する構造



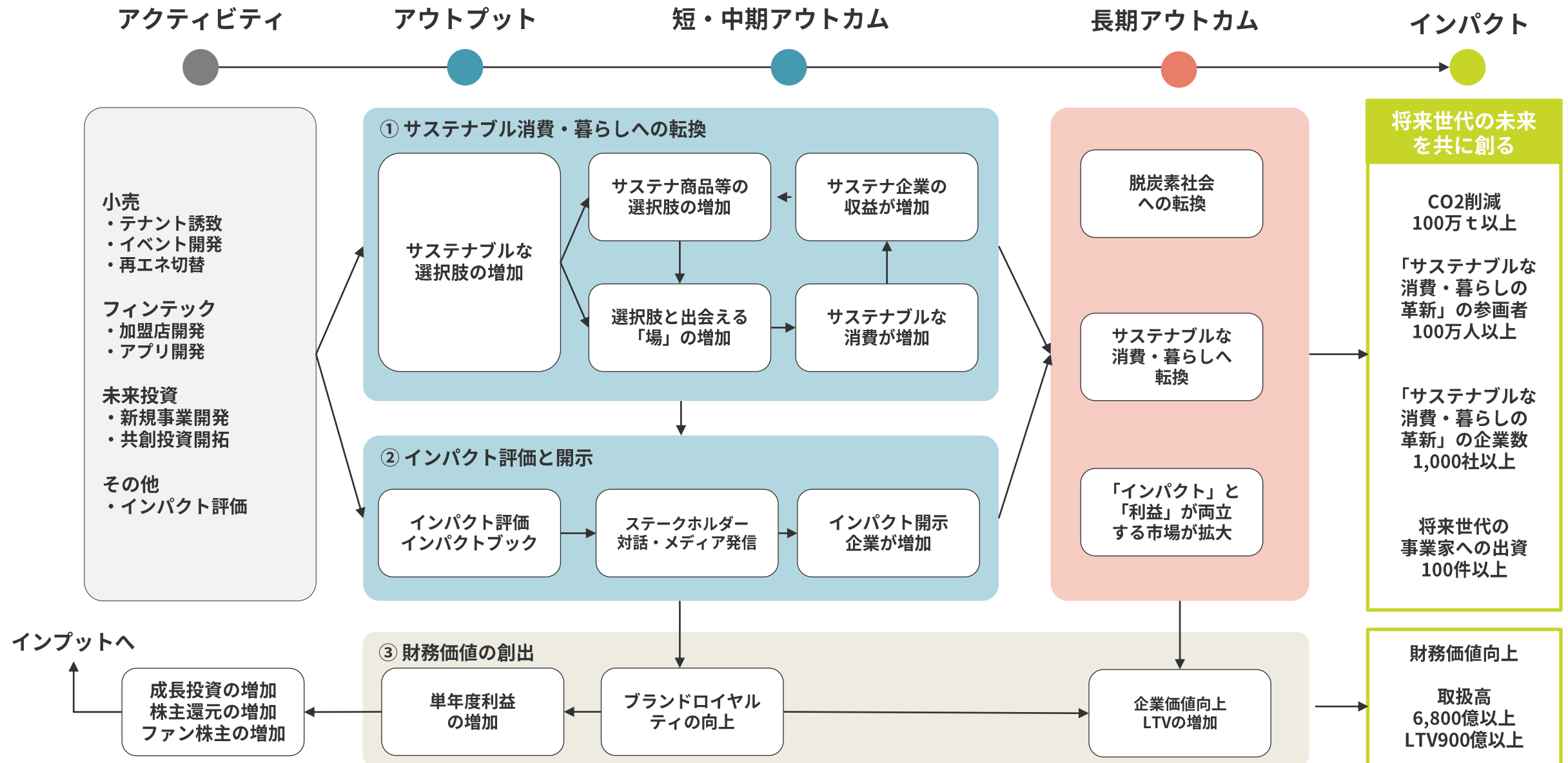
共創のエコシステムを通じて
事業/組織のイノベーションを実現

1-7 丸井グループのロジックモデルの全体像

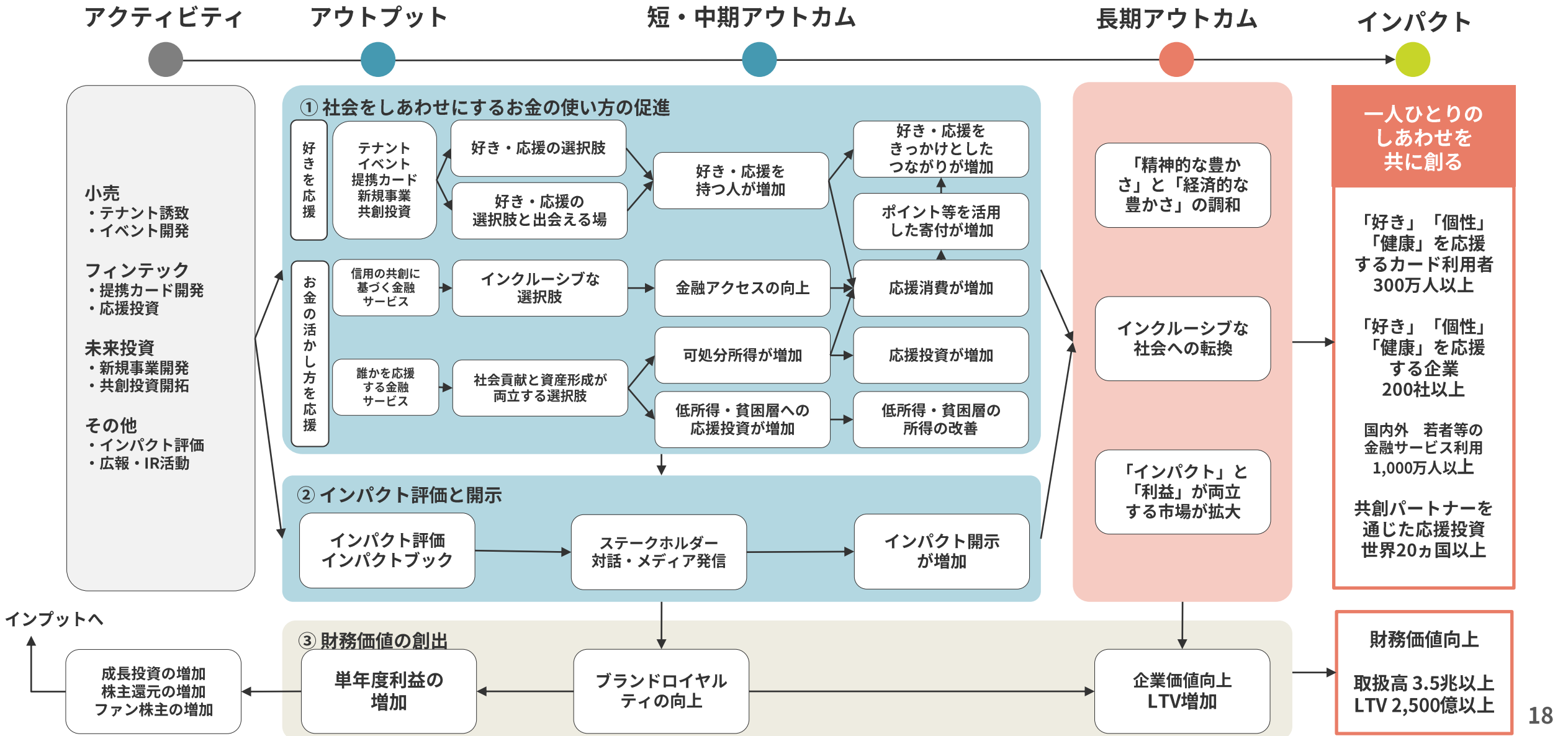
- ・ 事業戦略とストーリーをロジックモデルへ落とし込み、インパクト達成までの道筋を明確化



1-8 ロジックモデル① 将来世代の未来を共につくる



1-8 ロジックモデル② 一人ひとりの「しあわせ」を共につくる



1-8 ロジックモデル③ 共創のエコシステムをつくる

